



飛雄南図

令和2年(2020年) 第10号

7月27日

発行者 校長 金城 正樹

校内日本語弁論大会行われる！

7月14日(火)の6校時から放課後にかけて視聴覚教室で、今年度の校内日本語弁論大会が行われました。本校では、例年、全生徒が体育館に集まって校内日本語弁論大会を実施していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症対策や授業時数の確保の観点から、学年代表に選ばれた弁士10名と審査員の先生のみで行われました。

学年代表に選ばれた10名の意見文は、大変素晴らしい内容でした。一例を挙げますと「性同一性障害」に関する、「出生前診断の是非」、「虐待と冤罪」、「いじめ」など、多岐にわたりました。内容の深いものばかりだっただけに、生徒全員で共有の場を持てなかったことが残念です。

審査は、意見文の内容、表現力など県高等学校弁論大会の基準に準じて評価します。結果は、上位3位までを3年生が占める結果となりました。「エンターテイメントの意義」を発表した津波さくらさんが最優秀賞を、「気持ち悪い君が愛おしい」を発表した伊野波綾さんと、「無知の知」を発表した花木ひよりさんがそれぞれ優秀賞を受賞しました。3年生の発表は最上級生らしい堂々としたもので、内容もさることながら表現力においても大変素晴らしかったです。最優秀賞を受賞した津波さんは、学校代表として10月の県高等学校弁論大会に出場します。津波さんには、内容の深化、表現の工夫などを行い、県大会での優勝を目指し頑張ってもらいたいと思います。今回発表してくれた10名の皆さん、大変お疲れさまでした。素晴らしい発表に感動しました。

①発表前の弁士の皆さん



②全体の様子



③最優秀賞の津波さん



④優秀賞の伊野波さん



⑤優秀賞の花木さん



薬物乱用・サイバー犯罪防止講話実施

7月10日(金)の6・7校時に、1年生対象に県警察本部生活安全部少年サポートセンターの金城達也氏を講師に実施しました。今年は、三密を避けるため、2・3年生は教室で、厚生労働省の資料とワークシートで薬物乱用に関する学習を行いました。